



複十字シール運動について

運動期間：8月1日（土）～12月31日（木）

昨年度募金額：280,160円（3地域合計）



募金の使いみちについて

2024年度募金報告

募金収入 4億463万6,647円

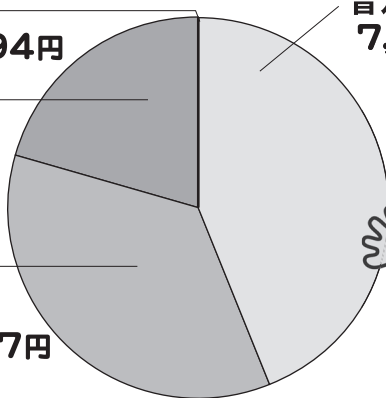
事業費（諸経費除く）1億3,230万8,363円

調査研究
59万4,694円

事業助成
2,110万
1,821円

国際協力
3,324万
2,417円

普及啓発活動
7,736万
9,431円



ツペリーナ



にかほ市結核予防婦人会
では、リーフレットの作成や
結核予防のための普及啓発活
動に役立てています。



DOUBLE-BARRED CROSS SEALS 2015
JAPAN ANTI-TUBERCULOSIS ASSOCIATION



複十字シール
みんなの力で結核やがんをなくすために
複十字章は世界共通の結核予防運動の旗印です
デザイン：安野光雅
公益財団法人結核予防会

各地域の募金活動

仁賀保地域

■7/2（木）～7/7（火）

肺がん等集団検診会場
場所：スマイル

■10月

街頭募金

（日時・場所未定）



金浦地域

■9月中

金浦支部会員による
戸別訪問



象潟地域

■7/14（火）～7/16（木）

肺がん等検診会場
場所：象潟保健センター



皆さまからの募金が、活動を支えています。
ご協力をお願いいたします。





複十字シール募金に ご協力をお願いします



～結核のない世界へ未来を変えよう～

2024年の日本の結核罹患率は、前年と変わらず人口10万人あたり8.1となっており、結核低蔓延の水準を満たしています。しかし、新登録患者の中では高齢者と外国出生者が多くを占めていて、重要な課題となっています。結核は決して昔の病気ではありません。今でも1日に28人が発病し、4人が命を落としている日本の重大な感染症です。

複十字シール運動は、結核を中心とした胸の病気をなくして、健康で明るい社会をつくるための運動です。その実現のために募金活動を行うとともに、病気への理解を広め、予防の大切さを伝えています。

募金は、結核や肺がん・COPD（慢性閉塞性肺疾患）などの胸の病気の普及啓発、全国の結核予防団体の事業支援、発展途上国の結核対策支援、結核等の調査研究に役立てられています。



結核はどんな病気？

結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。風邪に似た症状から始まりますが、痰の絡む咳や微熱、倦怠感が2週間以上続く場合は早めに受診しましょう。

結核はどうやってうつるの？

結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって空気中に結核菌が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が広がります。（空気感染）

結核は予防できる？

BCG接種は子供に有効です。健康的な生活が免疫力を高め結核の予防につながります。

早期発見で重症化を予防し、周囲への感染拡大を予防するために症状がなくても定期的に健診を受けましょう。

結核は治る病気？

結核と診断されても、複数の薬を6か月～9か月間毎日きちんと飲めば治る病気です。しかし症状がなくなったからといって治療の途中で服薬をやめてしまうと菌が抵抗力をつけてしまい薬が効かない結核菌に変異してしまう危険性があります。



シールハイハイ

日本の結核DATA（2024年）

結核を発症する人
年間 10,051 人

結核で失われる命
年間 1,461人

傾向1:患者の高齢化（結核患者の4割以上が80歳以上）

かつて日本で結核が国民病であった時代に罹患し、高齢化による免疫力の低下、様々な健康問題などが結核発病を促しています。

傾向2:外国生まれの患者増（20代の患者の8割が外国生まれ）

近年の世界的な人口移動に伴い、留学・就業で結核罹患率が高い途上国（アジア）から多くの若年層が入国しています。

